

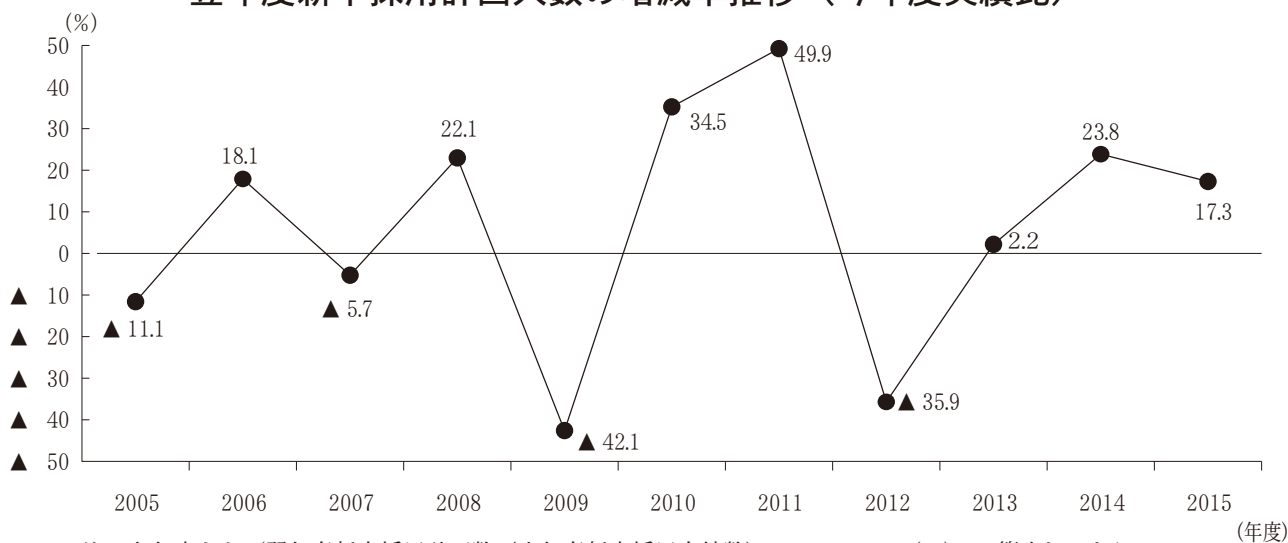
2015年度 採用動向

2016年春の新卒採用数は+17.3%

県内民間企業の採用動向に関するアンケート調査(有効回答128社)によると、回答企業が2016年春に計画している新卒者採用人数は739人で、2015年春の同採用実績630人に比べ、109人の増加となる見込み。2016年春の新卒者採用計画と2015年春の採用実績とを比較した増減率は、前年(23.8%)を下回ったものの+17.3%と3年連続のプラスとなった。

2016年春の新卒者採用の増減についての企業割合(社数構成比)を見ると(3頁)、同採用人数を2015年春の実績数より「増やす」と回答した企業割合は全体の37.5%と、前年同調査(36.4%)を1.1ポイント上回った。また逆に「減らす」と回答した企業割合は、前年同調査(15.9%)を0.5ポイント上回る16.4%であった。さらに、「同数採用」と回答した企業割合は前年同調査(9.1%)を3.4ポイント上回る12.5%、「前年と変わらず採用なし」が前年同調査(38.6%)を5.0ポイント下回る33.6%となっており、総じてみれば、企業の新卒者の採用意欲は、前年に引き続き積極姿勢を保っている様子が見えてくる。

翌年度新卒採用計画人数の増減率推移 (今年度実績比)

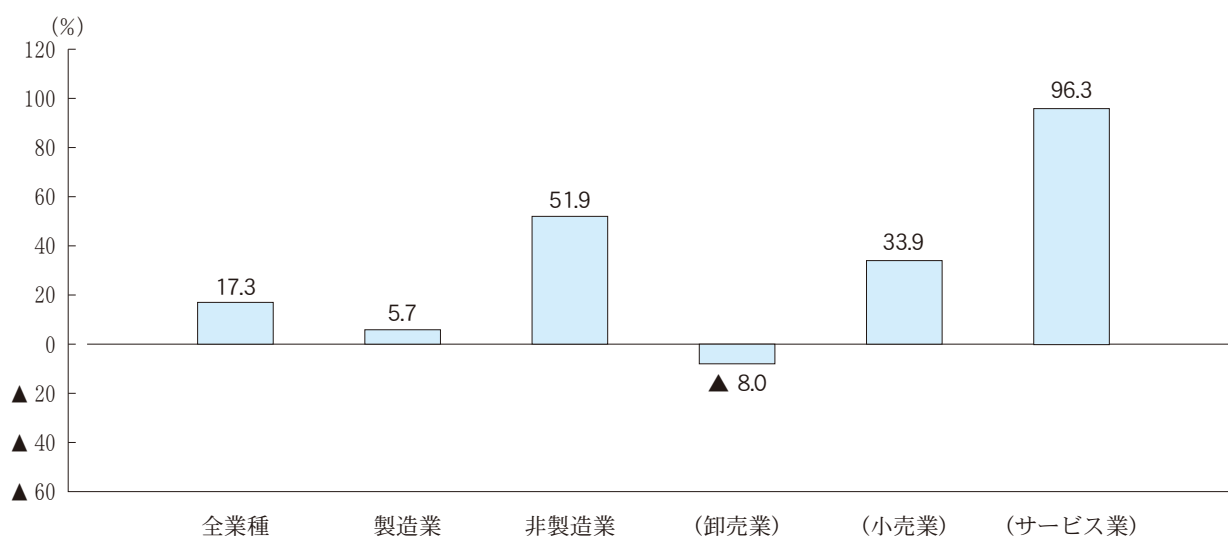


注：各年度とも (翌年春新卒採用計画数/当年春新卒採用実績数) × 100 - 100 (%) で算出しており、2015年度は (2016年春新卒採用計画数/2015年春新卒採用実績数) × 100 - 100 (%) で算出している。

2016年春の新卒採用計画人数について業種別に見てみると、採用計画人数739人のうち製造業が499人と全体の約2/3を占め、非製造業の240人を大きく上回った。2016年春の採用計画と2015年春の採用実績との増減率においては、製造業は+5.7%(前年同調査+22.8%)、非製造業も+51.9%(同+26.1%)と増加傾向が続いている。

なお、製造業においては一部に採用を抑制する動きが見られ、製造業全体としては小幅の上昇にとどまった一方、非製造業では卸売業の▲8.0%(同±0.0%)を除き、小売業が+33.9%(同+58.1%)、サービス業が+96.3%(同+8.9%)と採用意欲が旺盛で、非製造業全体の伸び率を押し上げた。

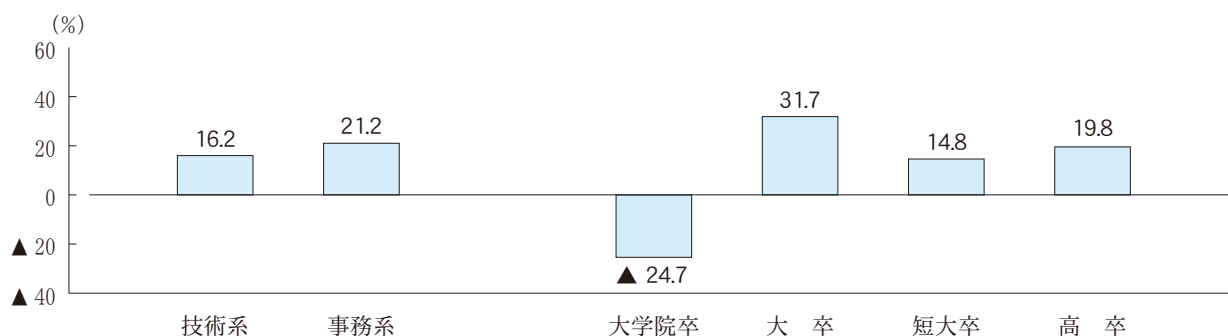
【業種別】新卒採用計画人数の増減率（16春計画－15春実績比）



次に、2016年春の新卒採用計画人数について職種別に見てみると、採用計画人数739人のうち技術系が573人と全体の約8割を占め、事務系は166人とどまった。これを2015年春の採用実績との増減率で見ると、技術系が+16.2%(前年同調査+23.7%)、事務系が+21.2%(同+24.0%)と、技術系・事務系とも前年に引き続き増加した。

同様に学歴別の増減率を見ると、大学院卒が▲24.7%(前年同調査▲17.1%)、大卒が+31.7%(同+48.9%)、高専及び専修学校を含む短大卒が+14.8%(同+40.4%)、高卒が+19.8%(同+12.6%)となっており、大学院卒が2012年同調査以降4年連続してマイナスとなる一方で、大卒・短大卒・高卒では2013年以降増加傾向が続いている。

【職種別、学歴別】新卒採用計画人数の増減率（16春計画－15春実績比）



2016年春の新卒採用を増やす企業は37.5%

2015年春の新卒採用実績と比較して、2016年春に同採用を「増やす」と回答した企業割合(社数構成比)は全体の37.5%と、前年同調査(36.4%)を1.1ポイント上回った。また逆に「減らす」と回答した企業割合は、前年同調査(15.9%)を0.5ポイント上回る16.4%であった。さらに、「同数採用」と回答した企業割合は前年同調査(9.1%)を3.4ポイント上回る12.5%、「前年と変わらず採用なし」が前年同調査(38.6%)を5.0ポイント下回る33.6%となっており、総じてみれば、企業の新卒者の採用意欲は、前年に引き続き積極姿勢を保っている様子がうかがえる。

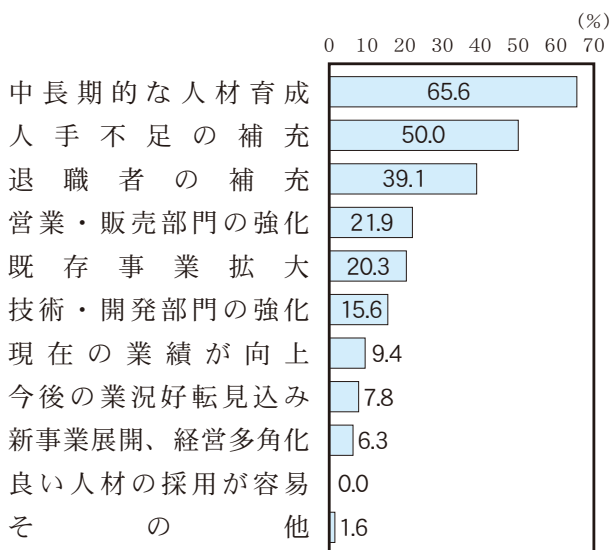
またこれを業種別に見てみると、非製造業の「増加」割合が39.6%と製造業の32.4%を上回り、「減少」の割合は14.3%と製造業の21.6%を下回るなど、非製造業に強気の採用姿勢が表れたかたちとなった。

2016年春の採用人数を増加あるいは同数とした理由(有効回答64社、平均回答数2.4)は、「中長期的な人材育成」が65.6%(前年同調査62.9%)と最も高く、以下「人手不足の補充」50.0%(同35.5%)、「退職者の補充」39.1%(同38.7%)と続く。「中長期的な人材育成」や「退職者の補充」の回答割合は従来と変わらないが、「人手不足の補充」は前年の回答割合から大幅に上昇し、50%に達したことが特徴的である。反面、減少の理由(有効回答21社、平均回答数1.6)としては「中長期的な採用方針」が66.7%(同12.2%)とトップになり、以下「人手が不足していない」38.1%(同58.5%)、「今後の業況見通し」19.0%(同29.3%)の順となった。2016年春の採用計画を2015年春の実績より減らす企業においても、足もとの雇用環境の改善を背景に、中長期的な視点で人材確保を意識し始めた様子が見てとれる。

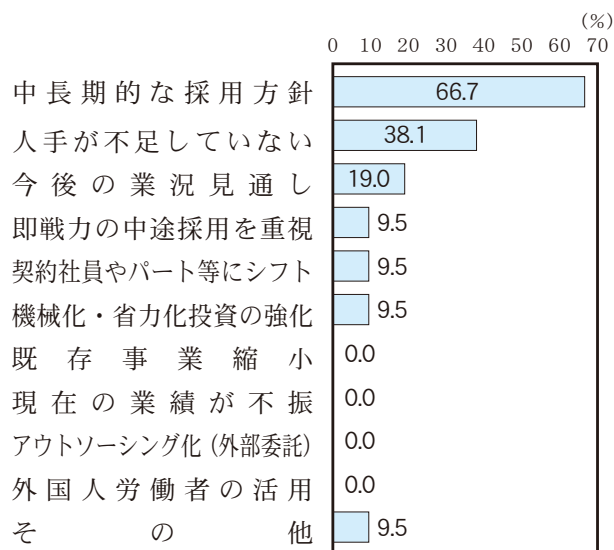
2016年春新卒採用計画と2015年春同実績との比較

業 種	回答社数	社 数 構 成 比 (%)			
		増 加	前年と変わらず		減 少
			同数採用	採用なし	
製 造 業	37	32.4	8.1	37.8	21.6
非製造業	91	39.6	14.3	31.9	14.3
全 産 業	128	37.5	12.5	33.6	16.4

2016年度の採用数増加(同数採用)理由(複数回答)



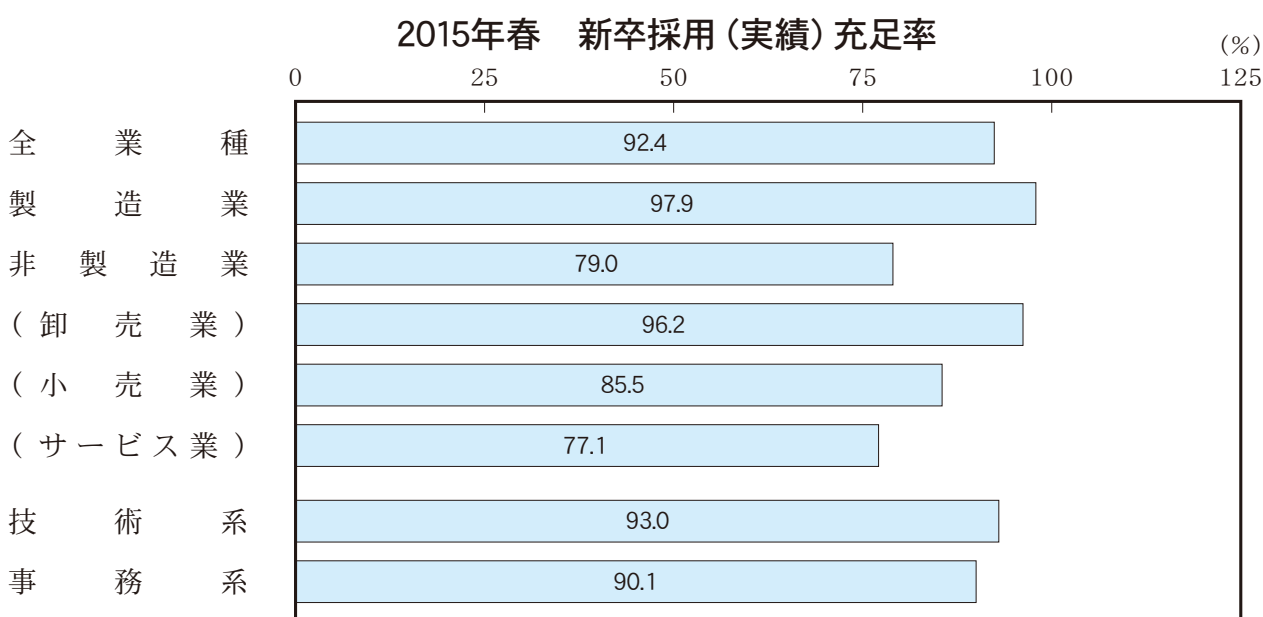
2016年度の採用数減少理由(複数回答)



2015年春新卒採用の充足率は92.4%に低下

2015年春の新卒者の当初採用計画人数682人に対し同採用実績人数は630人で、当初の採用計画に対する充足率は92.4%(前年同調査98.9%)となり、前年より6.5ポイント低下した。業種別に見ると、製造業の97.9%(同107.7%)に対し非製造業では79.0%(同83.4%)と、2014年春に生じた業種間の開きは継続している。非製造業においては、特に小売業やサービス業で2015年春に新卒者を十分に採用できなかった企業が散見され、結果的に翌2016年春の採用意欲の高まりにつながったとみられる。

職種別では、技術系(生産部門、技術・開発部門等)の充足率93.0%(同100.0%)に対して、事務系(事務部門、営業・販売部門等)は90.1%(同96.1%)とさらに低くなっている。



2015年度の中途採用人数は大幅減少

2015年度中の中途採用人数(2016年3月までの中途採用計画を含む)は305人と、2014年度の中途採用実績370人に対し▲65人(増減率▲17.6%)となる見込み。業種別では製造業が▲23.5%、非製造業が▲10.6%、職種別では管理職が▲45.5%、技術系▲14.2%、事務系▲20.7%とそれぞれ大幅に減少した。2015年度の採用動向は中長期的な方針から、中途採用よりも新卒採用に重点を置く傾向が見られたほか、中途採用状況においても、業種や職種に関わらず、人手不足(労働力不足)や人材不足となっている可能性が指摘される。

— 調査要領 —

調査時期	2015年11月下旬～2016年1月上旬
調査方法	所定の調査票によるアンケート方式
調査対象	県内主要民間企業 316社
有効回答	128社